

【 診療科:呼吸器内科 】
 【 レジメン登録番号:IP-32 】

〈 CDDP+PEM+Bevacizumab療法 (Short hydration法) 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21			
シスプラチン	75mg/m ²	div	○														
アリムタ	500mg/m ²	div	○														
ベバシズマブ	15mg/Kg	div	○														

【1コース期間: 21 日】 【総コース数:4コース】

【適応癌種: 非小細胞肺癌(非扁平上皮癌)】

【時期: 術前、術後 **手術不能・進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	イメドカプセル 125mg	p.o.
Rp.2	デキサート 9.9mg	div(15分で)
	5-HT ₂ R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	アリムタ 500mg/m ²	div(10分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	ソリタT4 500mL	div(60分で)
	KCL注キット 10mL	
	マグネゾール 10mL	
Rp.5	マンニトールS 300mL	div(30分で)
Rp.6	シスプラチン 75mg/m ²	div(60分で)
	生理食塩水 500mL ^{※1}	
Rp.7	ベバシズマブ 15mg/kg	側管div (初回90分、2回目60分、 3回目以降30分)
	生理食塩水 100mL	
Rp.8	ソリタT4 500mL	div(60分で)
	KCL注キット 10mL	
Rp.9	フィジオ140 500mL	div(40mL/hr)

<day2,3>

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	イメドカプセル 80mg	p.o.
Rp.2	デカドロン 8mg	p.o.

<day4>

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	デカドロン 8mg	p.o.

【参考文献: Jpn J Clin Oncol 2013;43(11):1105-1109、J Clin Oncol 2013;31:3004-11】

【備考: ※1...生理食塩水の量はシスプラチンと合わせて500mLとなるようにする。

- ・4コース終了後、増悪なければアリムタ単剤によるメンテナンス療法を行う。
 - ・参考文献ではベバシズマブ7.5mg/kgであるが、日本の適応に合わせ15mg/kgとした。
 - ・重篤な副作用の発現を軽減するため、葉酸及びビタミンB12を投与すること。
 - ・葉酸: 本剤初回投与の7日以上前から葉酸として1日1回0.5mgを連日経口投与する。なお、本剤の投与を中止又は終了する場合には、本剤最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。
 - ・ビタミンB12: 本剤初回投与の少なくとも7日前に、ビタミンB12として1回1mgを筋肉内投与する。
- その後、本剤投与期間中及び投与中止後22日目まで9週毎(3コース毎)に1回投与する。

【変法情報:

】